品目横断的経営安定対策に対する市の取り組みと対応

馬場詔二

問 麦作農家に対しての指導方針はどのようにするのか。

答 担い手農家の育成、集落営農集団の立ち上げをJA、振興センターと一丸となって全力で取り組みます。

問 19年度産麦の作付面積はどうなるのか。

答 現状を維持できるよう努力します。しかし、状況は厳しいものがあります。

問 麦作農家の収入への影響は。

答 1ヘクタール作付した農家が助成金を受けられない場合、収入は47万9千円少なくなり、15万9千円程度となり、市全体で2億円収入が減少します。

問 作付が減少したとき、農道、水路、アゼ等の保全管理はどうするのか。

答 市は荒れた道路、水路等刈り取り等の要望に応じ切れません。通学路等危険な場所、環境に重大な影響を及ぼすと判断される場合は、優先的に処置しますが、その他は自治会や地元での処理をお願いしたいと考えます。

公共施設におけるアスベスト建材調査と対策

大澤ミツ子

問 アスベスト建材使用調査施設数及び、含有施設数と今後の対策は。

答 調査はすべての公共施設を対象に実施しました。必要に応じて含有分析調査や大気調査も実施しました。現行の法令で規制されている1％を超える施設は必要な対策をとることで調査の結果、該当する施設は32でありましたが、既に7施設については措置済みで、さらに7施設を、17年度の予算で対応中であります。残り18施設については、大気中の検査結果から緊急性がないものと判断しており、18年度に13施設、残り5施設についても19年度中に実施完了の予定です。

花園幼稚園の送迎バス運行

問 園児の送迎バスを平成19年3月31日以降の廃止に、父母のかたがたは大変困惑している。廃止しないで運行できないか。

答 幼稚園バス廃止は合併協で決定したわけですが地域の独自性もあるので、市民のかたに一気に負担を及ぼすことは慎重にすべきだと考えます。昨年決った合併協の決議事項を全項目にわたって調査させています。どの程度住民負担が増えるのか良い点も含め、プラス・マイナスで調査しています。4月に行財政改革推進室を立ち上げ、その中で効率的な財政運営を前提として考えていきます。合併協で決まったから100％廃止という方向でなく、どうしたら花園の独自性が守れるかという視点からしばらく時間をいただき検討させてください。

花園幼稚園バス

市立大学創設？

吉岡信彦

またもや看護系か

問 市長は看護系の学部を誘致し、かなわなければ深谷市立で看護系大学を創立したいとの事だが、本気なのか？

答 まずは誘致に全力を挙げて参ります。

問 高等看護学校を潰す事になっても構わないのか？

答 お互いに助け合う事を考えていかなければと思います。

3町とも駆け込み昇格か？

問 旧3町は31～32歳で主査になっており、旧深谷市では35～36歳でなければなれなかった。3町ともに駆け込み昇格だったのか？

答 それぞれの町の基準で昇格をしてきており、やむを得ないと考えております。今後旧3町の職員は、旧深谷市の職員と揃えるために足踏みをさせ、格差を解消していきたいと考えております。

笑顔と真心の徹底を！

問 お客様をお迎えする態度に不備が見られる。職員研修は行われているのか？

答 お客様を笑顔でお迎えするのに挨拶は大変重要です。行政連絡会議で周知を図りましたが、今後も内外の講師による職員研修を行う中で、挨拶の励行を徹底して参ります。

川本堆肥センターの今後は

問 1軒の畜産農家のために作った施設としか考えられない代物で、年々莫大な赤字だ。今後は、どうしていくのか。

答 施設の是非は、建設の経緯を調査しなければ判明しませんが、赤字解消に努力をいたします。

川本堆肥センター

職員人件費削減で住民サービスは低下しないか？

吉田幸太郎

問 市長は施政方針の中で、今後10年間で100億円の人件費の削減を目指すと述べているが、具体的な内容はどうなっているのか。

答 今後10年間で職員の定年退職者は、416人と見込まれます。新規採用者数を退職者数の半分に抑え、現在1081人の職員が、10年後には863人となり、約100億円の人件費が削減されます。なお、今後は事務事業の見直し、弾力的な人員配置による行政組織のスリム化を図り、市民サービスに取り組みます。

市内循環バスは、いつ新市全域を走るのか

問 高齢者等の交通弱者の足として、市内循環バスの費用対効果は大きいと思う。一日も早いバスの運行を望む市民も多いが、再編計画はどうなっているのか。

答 市民も交えた委員会で運営方法等を審議し、運行計画を策定します。平成19年中には運行実施を予定しています。

マラソン大会実施は

問 新市としての第1回目のマラソン大会実施に向けて、現状はどうなっているのか。

答 新市の一大イベントと位置づけ、4月から行政と関係民間団体を含めた実行委員会の立ち上げ等の準備をしています。大会実施は平成19年2月頃を予定しています。

仮称「深谷花火」

永田勝彦

問 一級河川荒川の辺に、深谷花火を開催してはどうか。

答 事業主体である実行委員会、地元住民皆様のご理解、ご協力を周知していただき、合意形成が図れたら、市としては地元実行委員会皆さんの総意ならご支援ご協力してまいります。

問 深谷花火の具体的な広告媒体は。

答 広報紙、観光協会のホームページ等を利用し、幅広く周知徹底してまいります。

問 深谷花火は、深谷市民の和みの選択肢の一つである。

答 全市を挙げて協力一体感を醸し出すこの花火を支援します。

仮称「明戸橋」

問 平成5年2月27日、旧2市5町による「明戸橋促進期成同盟会」が結成されている。仮称「明戸橋」の早期実現に向けた深谷市としての方向性について尋ねたい。

答 周辺住民とのご理解を図りながら、各市町との連携を図り要望活動を続けてまいります。

問 「新市建設計画」及び「新市の都市構造概念図」これらとの整合性がある新橋建設であるが。

答 取り付け道路、橋梁建設含め112億円かかります。国・県との協議があろうと思います。機が熟するまで粛々と要望活動を続けてまいりたいと存じます。

問 施政方針の中で近隣都市との連携を打ち出しているが。

答 新市建設計画に載せてありますので、国県に向けて働きかけてまいります。

〈議会あれこれクイズ…議会はどこで行われているかご存知ですか？〉こたえは13ページ